

平成 14 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 日本特殊陶業株式会社  
(コード番号 5334 東証・名証第一部)  
問 合 せ 先 取締役経理部長 稲垣 純  
TEL 052 - 872 - 5918

### 通期業績予想の修正ならびに有価証券評価損に関するお知らせ

平成 13 年 11 月 14 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 14 年 3 月期（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）の通期業績予想を修正するとともに、当社が所有する有価証券につき同期末において評価損を計上することになりましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 14 年 3 月期通期業績予想数値の修正

##### (1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 13 年 11 月 14 日発表)	217,000	9,400	4,800
今 回 予 想 ( B )	221,400	10,700	4,800
増 減 額 ( B - A )	4,400	1,300	
増 減 率	2.0%	13.8%	
(ご参考) 前期実績(平成 13 年 3 月期)	224,268	24,723	13,056

##### (2) 単独業績予想

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 13 年 11 月 14 日発表)	182,000	8,200	4,200
今 回 予 想 ( B )	186,701	10,664	5,002
増 減 額 ( B - A )	4,701	2,464	802
増 減 率	2.6%	30.0%	19.1%
(ご参考) 前期実績(平成 13 年 3 月期)	198,644	20,220	10,537

##### (3) 修正の理由

売上は各部門とも予想を若干上回る堅調な推移となった一方、利益面では下期の為替予想 120 円/\$ に対し、実勢では 128 円/\$ となったこと、プラスチック IC パッケージの増産・歩留向上により原価が改善したこと、滞留在庫の処理を推し進めたことにより全体で 1% 程度売上原価率が改善したこと等により、上記のとおり修正いたします。

## 2. 投資有価証券評価損の計上

当社では、「その他有価証券（財務諸表等規則第8条第21項に規定するその他有価証券をいう）」のうち時価のあるものについて、金融商品会計に基づき、平成14年3月期末における当該有価証券評価損（減損処理）を算定いたしました結果、下記のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

### (1) 平成14年3月期末の投資有価証券評価損の総額

平成14年3月期末の投資有価証券評価損の総額（A）	2,670 百万円
平成13年3月期の純資産の額（B）	196,646 百万円
$(A) / (B) \times 100$	1.4 %
平成13年3月期の経常利益額（C）	20,220 百万円
$(A) / (C) \times 100$	13.2 %
平成13年3月期の当期純利益額（D）	10,537 百万円
$(A) / (D) \times 100$	25.3 %

### (2) 今後の見通し

上記評価損を特別損失として計上いたしますが、同時に投資有価証券売却益 1,078 百万円を特別利益に計上することにより、平成14年3月期の業績見通しは、上記1.のとおりとなります。

以上